

②災害査定の加速化の取組

- 早期復旧の観点から年内に災害査定を完了するべく、更なる災害査定の効率化や技術的支援を実施。
- 机上査定は通常大規模災害時には件数の7割を机上査定にすることができるが、この金額を件数の9割まで引き上げた他、路面災害については、金額に関係なく机上査定できるように査定の簡素化を実施。
- また、被災地に職員を派遣し、継続的に職員やコンサル等に技術的助言を実施。

災害査定の効率化

	通常	1/26	8/23
机上査定上限額の引上げ 現地査定を減らすことにより、 査定に要する時間・人員の減	1,000万円	8,000万円 (石川県)	1億2,000万円 ※道路の路面に係る災害については、上記引上げ額を超える場でも、机上査定にできる。 (石川県)
		8倍	更なる効率化 通常より 12倍
現地で決定できる金額の引上げ 現地で金額決定できる対象が増えることによる復旧の迅速化	4億円	11億円 (石川県)	25億円 (石川県)
		約3倍	更なる効率化 通常より 約6倍
図面等の効率化 災害査定申請資料の作成に要する時間の減	必要な書類 詳細な平面図 変化点毎の縦断面図・横断面図 査定設計書 (詳細数量・積算資料) 詳細な写真		
	平面図 (既存地図データ等活用) 標準断面図 (代表断面のみ) 査定設計書 (概算数量・詳細な積算資料不用) 写真 (起終点・被災事実のみ)		

技術的支援

- 災害査定の加速化に向けた支援内容を説明するとともに、自治体の現状及び課題について意見交換を実施



珠洲市長と意見交換

- 被災市町への職員派遣による早期復旧技術支援

